



- ミス
- ・吹抜けが吹抜けとしていない
 - ・車椅子使用者(2)が乗れない
 - ・断面方向と断面図の不整合(たぶら)
 - ・断面図の寸法ミス
 - ・本館からのアトリウムが伝えない
 - ・断面図に必要なしと記載してはいるが平面に存在しない

面積表

建築面積	$21.0 \times 35.0 + 7.0 \times 21.0 + 4.0 \times 1.0 + 4.0 \times 1.0$	890.0 m^2
床面積	3F	$21.0 \times 28.0 + 7.0 \times 14.0 - 14.0 \times 4.0 - 14.0 \times 14.0 = 434.0$
	2F	$21.0 \times 35.0 + 7.0 \times 21.0 - 7.0 \times 7.0 = 833.0$
	1F	$21.0 \times 35.0 + 7.0 \times 21.0 = 882.0$
	合計	2149.0 m^2

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)～(10)の要点等を具体的に記述する。
 なお、要求図面では表せない計画についても記述する。また、(6)、(7)及び(10)については、【イメージ図記入欄】に、当該計画に対する考え方をイラスト、システム図等により必ず示したうえで、当該要点等を記述する。

(1) 「展示関連諸室」と「アトリエ関連諸室」のゾーニングについて考慮したこと
 アトリエ諸室を1階に設け、来場者が市民の活動がわかりやすいように置いた。展示室関連は、2階と3階に配置した。

(2) 展示物等の移動に配慮した、荷解き室の搬入口から各展示室までの動線について考慮したこと
 廊下の幅を2.5m以上確保し、人荷用エレベーターと荷解き室を直結して配置した。4月9日展示室には、直接倉庫へ搬入できるように重吊車を確保した。

(3) 分館と本館との来館者の動線について考慮したこと
 本館のホワイエにアプローチを考慮し、サマエントランスを南面に設けた。メインエントランスは北側に設けた。

(4) 展示室A及びBについて、特記事項を踏まえたそれぞれの「室の設え」について考慮したこと

展示室A	西側窓にはたて型ルーバーを設置し、開口部には暗幕カーテンを取付、自然光と人工照明の使い分けが出来るよう考慮した。
展示室B	開口部には暗幕カーテンを取付し、壁には防音を考慮し、カーブガラスエレベーターを設けた。

(5) 吹抜け及びその周囲の空間において、多くの自然光を取り入れるために、平面・断面計画や開口部について工夫したこと

吹抜け及びその周囲の空間	吹抜け上部に、開閉式のトリアライトを設け、外壁に面する部分には開口部を設け自然光が入る計画とした。 ホワイエに面して直置き手すりも設け、明るいホワイエにするよう計画した。
--------------	--

(6) 公園への眺望(西面及び南面)や自然採光を確保しつつ、冷房時の日射負荷抑制を図るために、窓面の配置と大きさ及び日射遮蔽手法等について工夫したこと(Low-Eガラスによる工夫を除く。)

【イメージ図記入欄(必ず記入のこと)】

西側	西面：垂直ルーバーを設置し、西日対策を図った。ルーバーとルーバーの間より、緑化のため5度以上ルーバーの角度に考慮した。
南側	南面：屋上庭園に面する開口部に庇を設け、直射日光を遮る計画とした。

(7) 屋上庭園(出口・通路及び客土範囲)における断面の構造等計画(梁断面、スラブ位置、厚さを決定した考え方、バリアフリーの考え方及び防水の考え方)について考慮したこと

【イメージ図記入欄(必ず記入のこと)】

梁断面、スラブ位置・厚さ：スラブを500F(1F2)計画とし、屋上庭園スペースは、上げ床タイプを敷き込んだ。
 バリアフリー：建屋FLと、屋上庭園スペースからフラットに合わせる。デッキを調整した。
 防水：客土部分には、耐根シートも敷設し、ドレン排水を各所設け、オーバーフロー管を設けた。

(8) 建築物の構造種別・架構形式・スパン割りについて考慮したこと及び主要な部材の断面寸法

構造種別 架構形式 スパン割り	用途及び規模から、耐火性、防火性、耐風性、耐震性に優れ、水平剛性が高い鉄骨筋コンクリート造とし、ラーメン架構とした。		
主要な部材の断面寸法(mm)	大梁： 500 × 800	柱： 750 × 750	
	小梁： 300 × 600	壁： 150	床： 200

(9) 多目的展示室の構造計画(柱、梁、床、天井、スパン等)について特に考慮したこと及び部材の断面寸法

無木柱空間を構成する大梁については、異種構造にならないように、PC梁を採用し、ひびき止めを抑制した。
 柱については、他の柱よりサイズを上げ、配筋量を増やす計画とした。

部材の断面寸法(mm)	大梁： 500 × 1,000(PC梁)	柱： 800 × 800	
	小梁： 300 × 600	壁： 150	床： 2150

(10) 多目的展示室の空調用吹出し口の設置位置(床・壁・天井・幅木)を一つ以上選択し、その位置とした理由及び配慮したこと

設置位置【床・壁・天井・幅木】(一つ以上○印で囲むこと)

【イメージ図記入欄(必ず記入のこと)】

設置位置とした理由及び配慮したこと：
 ・床置きが外排系統型(空冷ヒートポンプパック方式)を採用し、壁面から吸込み天井面から吹出す計画とした。